

2018年6月8日

JSCA 指導者検定会 ベーシック課程 (カヤック) 報告書

報告者 シーカヤックうみうし

大野 秀史

■ 内容

開催日：2018年4月11日（水）

会場：神奈川県三浦郡葉山町一色海岸

天候：雨

受験者：1名

認定者数：1名

■ 概要

今回の検定会の受験者は、既に SUP ベーシック検定に合格し一般会員資格を有しているため、知識課目の受験は免除され、技術課目一日だけの受験となった。

検定会当日の会場の海況は、強風波浪注意報が発表され、実際の風は 7～8m/s 前後であったが、会場内の防波堤内側（風が入りにくいエリア）に移動し、検定会を実施した。

「漕艇技術」は、風速約 6m/s 、30 cm 程度のうねりを伴った波の中で行ったが、受験者の技量が高かったこともあり、「指導技術」とともにスムーズに実施できた。

「安全技術」は、初め防波堤内でアシスト・セルフレスキュー、トーイングの基本を確認し、その後防波堤外のオンショアエリア（流されても砂地の海岸に上陸できるエリア）でより実践的に確認・練習を行った。ベーシックイントラの想定活動を超える内容のレスキュー練習もあえて取り入れた（今回の検定受験者の技術レベルの高さについては、事前講習時やその他の機会を通しておおよそ把握できていたため）。

■ 所感

今回の受験者は、シーカヤックガイドとして既に現場で長年活動されており「安全」に対する意識が高く、協会への加盟の必要性、重要性も感じておられます（「活動範囲」の問題で、公認校申請はイントラ 1 合格後になるようです）。

このような場合、協会側としては合格されるまで受け身で待つことになりがちですが、少しでも早く合格できるように協会サイドがフォローする体制を作ることも大切だと思いました（例えば、年末頃 2 回開催の教養・基礎課程を春と秋各一回開催にすると、不合格時に半年待てば再受験できることとなります）。

以上